

I. バックファイヤー問題

1. どんな時が問題ですか

ミキサーシステムにおいて、バックファイヤーにより吸気ダクトやエアークリーナが外れたり破損した場合は、ベーパーライザも損傷している可能性があります。

特にバックファイヤー発生後、アイドルセットが出来ないとか、始動が困難になった場合はベーパーライザを疑って下さい。

2. どこが損傷するのですか

大きなバックファイヤーが発生しますと、吸気管に大きな圧力波が作用しますので、吸気管と連通しているベーパーライザのバキュームロックダイヤフラムが破れてしまい(写真1)始動が困難になります。

また2次弁レバーを曲げてしまいます。(写真2)

2次弁レバーが曲がりまると、エンジン停止時バキュームロック機構による2次弁を閉弁させる力が弱くなり、(写真3)燃料漏れにより始動性が悪化したり、アイドルセットが出来なくなります。

3. 何が原因ですか

ミキサーシステムではエアークリーナが詰まりますとベンチュリー部の負圧が増加し、その分ベーパーライザのSASやメインアジャストスクリューを絞る方向(リーン側)に調整する場合があります。この状態のまま、エアークリーナを新品に交換しますと空燃比がリーンとなり、バックファイヤーが発生しやすくなります。

(なお、噴射システムでは空燃比を自動補正しますので、このような問題はありません。)

また、弊社のリビルトベーパーライザは、生産ラインと同様の検査装置を用いて圧力や空燃比をセットして出荷しますので装着後、即始動ができ、また再セットも容易です。

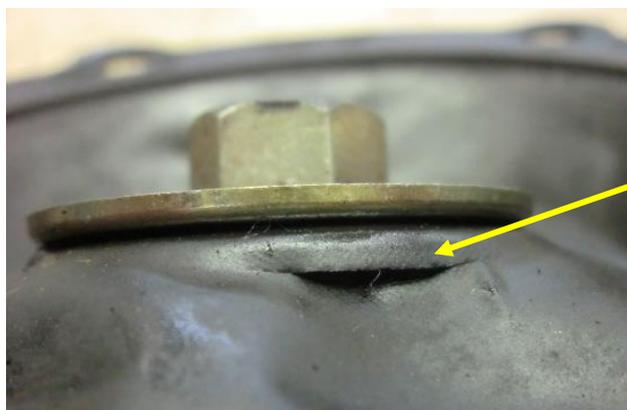
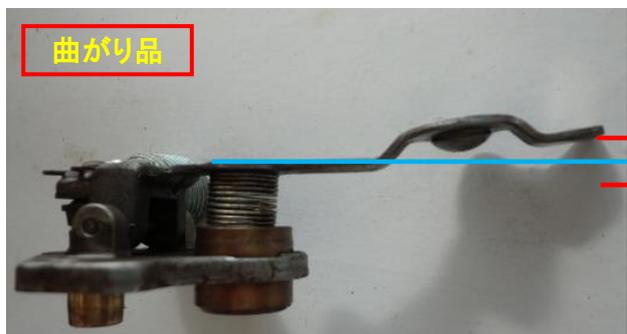
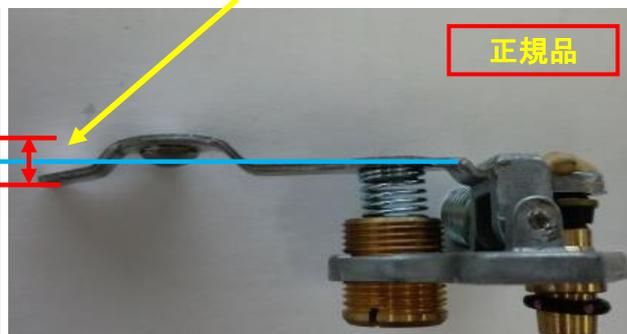


写真1:バキュームロックダイヤフラム

バキュームロックダイヤフラムの破損



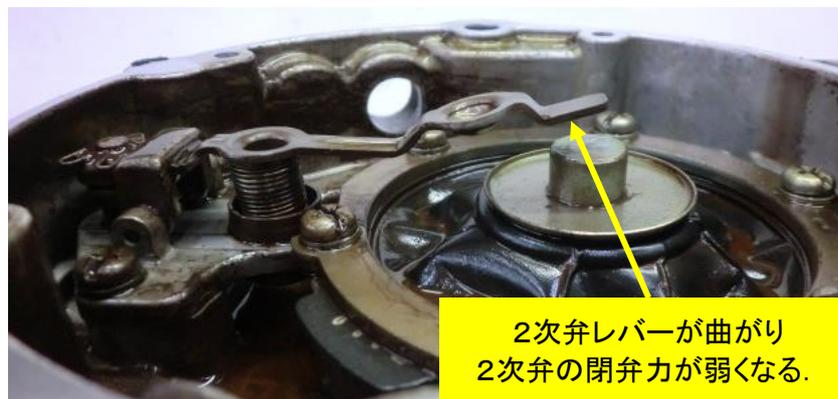
曲がり品



正規品

2次弁レバー曲がり

写真2:2次弁Assy



2次弁レバーが曲がり
2次弁の閉弁力が弱くなる。

写真3:バキュームロック状態